

わくわく、いきいき、明日への好奇心。

ローズライフ

vol.34

2018*春夏号

Rose Life



特集 ●

世界遺産と

新茶を楽しむに――

京都・宇治へ
おでかけ。



抹茶と碾茶(てんちゃ)で炊き上げたおかゆに、お団子と玉露の茶葉をトッピングした茶葉がゆ(1,080円)。柔らかな口当たりで、香ばしいお茶の風味が食欲をそそります。

石臼で
抹茶づくりを
体験

所要約40分/一人1,296円(税込)
(材料費、お菓子代含む) ※予約優先



① 抹茶の元となる碾茶を石臼に乗せ、一定のペースでゆっくりハンドルを回して挽きます。

*他にも「手もみ茶づくり」など多彩なメニューが。(要予約)



② すべて挽いたら集めて漉して...



③ 茶碗に入れて抹茶を点てます。



④ 挽きたての香り高い抹茶を、お菓子と一緒にいただきます!

◆福寿園 宇治茶工房
伝統ある宇治茶の文化を飲んで、食べて、体験も

1階がショップと資料館、2階が茶寮、茶室、工房になっていて、宇治茶の魅力をまるごと体感することができます。製造工程を知り、お茶づくりも体験して、味わいある宇治茶やお茶を使った料理・甘味をゆったりと楽しみましょう。

宇治市宇治山田10
月曜休(祝日の場合は翌日)
10:00~17:00(福寿茶寮16:00L.O)
☎ 0774-20-1100



体験工房担当/有吉理恵さん

緑茶は
うれしい
健康効果が
いろいろ!

緑茶には抗酸化作用のあるカテキンをはじめ、脳の活性化に作用するテアニン、食物繊維やビタミンなども含まれています。特に茶葉そのものを挽いて飲む抹茶なら、その栄養成分を余すことなくいただけるんですよ。



宇治川のほとり、名陶・朝日窯の隣に建つ宇治茶工房。



ローズライフ特集 ● 世界遺産と新茶を楽しむに

京都・宇治へおでかけ。

おでかけが気持ちいい季節。なかでもゆったり心落ち着けるのがローズライフ各館からほど近い宇治エリアです。自然の息吹と世界に誇る日本文化が感じられる宇治を訪れてみませんか—?



◆平等院
極楽浄土を具現化した
荘厳美麗な世界遺産

平安時代後期、極楽往生を願って藤原頼通が建立した阿弥陀堂「鳳凰堂」。堂内には、国宝の阿弥陀如来坐像や52軀の雲中供養菩薩像が鎮座し、壁や柱には極楽浄土を彷彿とさせる鮮やかな絵図が施されていた面影が今も残っています。

※写真協力: ©平等院



仏教の経典にある極楽のイメージを再現したとされる鳳凰堂。日本の代表的な文化財として、10円硬貨に印された姿でも有名。

左/金色の丈六阿弥陀如来坐像。右/4月末ごろからは藤が見頃に。



宇治市宇治蓮華116
無休/庭園8:30~17:30
拝観料/大人600円(庭園+平等院ミュージアム鳳翔館)
※鳳凰堂内部拝観は別途300円
☎ 0774-21-2861

ゆったり、心を遊ばせて。
やわらかな日差しに包まれ

◆宇治上神社
もうひとつの世界遺産は
日本最古の神社建築

深い緑を背にして建つ寝殿造りの拝殿は1215年に、その奥にある本殿は1060年に建立されたといわれる国内最古の神社建築。平等院建立後は鎮守社として崇敬されており、境内は長い歴史の趣にあふれています。

宇治市宇治山田59
無休/9:00~16:30
拝観料/無料 ☎ 0774-21-4634



木漏れ日が気持ちいい「さわらびの道」。



さわらびの道沿いにある宇治上神社。鳥居の先は神様を祀る神域。



上/かつて「菟道」と書いて「うじ」と呼ばれていたことにちなんだ、可愛いうさぎのおみくじ(各300円)。左/本殿(国宝)には、菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)、その父の応神天皇、兄の仁徳天皇が祀られています。

おでかけの最後は新緑がまぶしい「さわらびの道」をのんびり散策。春から初夏への明るい日差しをたっぷり浴びて、身も心も軽やかに! さて、次はどこへ行きましょうか。

ばかばかと暖かな季節、ご家族やお友だちと一緒におでかけするのなら、近場の世界遺産を訪ねてはいかがでしょう。宇治は、海外からも多くの観光客がやって来る和の魅力あふれるエリア。まずは、世界文化遺産の「平等院」へ。池の中島にたたずむ鳳凰堂は、その優美な姿を水面に映し、まさに極楽浄土のイメージそのもの。約100年ごとに修理が繰り返され、華やかな平安文化を今に伝えています。平等院のあとは、喜撰橋から塔の島、さらに宇治川を眺めながら朝霧橋を渡り、対岸の「福寿園 宇治茶工房」でひと休み。おいしいお茶やお料理をいただいたら、こも世界文化遺産の宇治上神社にお参り。静かな境内には、心洗われる厳かな空気が満ちています。

